

ICT活用研修計画案

1 研修名 ICT活用研修

2 研修内容について

- (1) ねらい 教員用と児童用のタブレット端末を用いて、授業で活用するための基本的な技能の習得を図る。
- (2) 準備するもの 教員用タブレット端末、児童用タブレット端末、プロジェクター
- (3) 研修展開

過程	活動 (○：ファシリテーター、・受講者)	留意点
導入	<p>1 研修のねらいについて確認する。(3分)</p> <p>○皆さんからいただいたリクエストをもとに本日の研修を行います。夏休み明けの授業ですぐ使っていただける内容ばかりですので是非ご活用ください。マニュアルはありません。研修後でも、操作が分かるまで何度でも説明しますので遠慮なく聞いてください。</p>	<p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童用タブレット端末を操作することを通して、教師の操作に対して、視聴する画面や操作の仕方などを児童の側から客観的に確認できるようにする。
展開	<p>2 学習支援ソフトで授業用のチームをつくる。(20分)</p> <p>○夏休み前の全校集会で活用したことを想起できるように提示。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師用端末を操作し、学級の授業用のチームを作成。 ・チームのコードを表示し、児童用端末からコードで参加。 <p>○ファイルの配付方法の説明と実践の紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同様の方法を再現し、教師用端末で自学級のチームを作成。 <p>○家庭への持ち帰りによる動作確認のテストや台風での休校に備え、9月中に自学級児童のチーム参加を完了するように依頼。</p> <p>3 協働学習支援ツールで授業中の活用方法を演習する。(30分)</p> <p>① 発表ノートの利用 (10分)</p> <p>○授業で使用し、効果が高かった発表ノートの事例の紹介。</p> <p>○デジタル教科書から発表ノートを作成する手順の説明。(②へ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成した問題を児童用端末に配付し、考えを交流する場面を再現。 ・回収したノートからの考え方の交流の場面を再現。 <p>② 協働学習支援ツールにデータをアップロードする方法 (5分)</p> <p>○教師用端末や児童用端末で撮影した写真の活用の説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①でスクリーンショットした画像の活用の演習。 <p>③ シンプルプレゼンの利用 (5分)</p> <p>○初級から上級までの使い分けの説明。</p> <p>○理科や社会科でのまとめと発表での利用の提案。</p> <p>④ ポジショニングの利用 (10分)</p> <p>○道徳科の授業での活用方法の紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童機を使って、操作の実践と表示・交流の確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームを作成することによって可能となる教育活動の具体的な例を紹介し、学習支援ソフトの活用への関心を高める。 ・協働学習支援ツールについて、①～④の内容を順番に取り上げて、基本操作を身に付けられるようにする。 ・児童間や教師間で資料を共有できるフォルダの活用方法を紹介し、ICTを働き方や学び方に効果的に生かせるようにする。 ・様々な端末からアクセスできることや、端末のデータ容量を圧迫しないために、クラウドサービスとの併用を推奨する。 ・校務で使用しているプレゼンテーションソフトとの互換性について確認する。 ・児童の主体的に学習に取り組む態度の評価や教師の指導改善に関連付けて、ポジショニング機能を使用することの効果を伝える。
終末	<p>4 今回の内容を自学級で行う場合の課題点と対策を交流する。(7分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年に応じたICT活用の課題と対応策を交流する。 ○約3か月の利用期間における動作不良や保険適用事案の紹介。 	